

# simc News Letter

Sendai International Music Competition

2022年5月30日号

## 仙台国際音楽コンクールニュースレター

第8回仙台国際音楽コンクール 【開催日程】ヴァイオリン部門 2022.5.21(土)～6.5(日) ピアノ部門 2022.6.11(土)～2022.6.26(日)

### 第8回仙台国際音楽コンクール・ヴァイオリン部門全体レポート

セミファイナル 第2日目 2022年5月28日(土)

須永 誠(フリーライター)



第8回仙台国際音楽コンクール・ヴァイオリン部門のセミファイナル2日目は、午後2時から審査が行われた。晴天に恵まれたのに加え、土曜日だったこともあって、初日をかなり上回る聴衆が、会場の日立システムズホーム仙台に足を運んだ。ロビーにはコンクールのこれまでの流れなどを紹介する資料が貼り出され、来場者同士の会話が弾む。

今回のコンクールは、コロナ禍が影響し、今年3月中旬になってようやく開催が確定した。特色の一つである市民ボランティアによるサポートも大きな制約を受けた。出場者の市民宅へのホームステイは感染対策上中止せざるを得ず、市民にとっても、「仙台の家族」の応援を楽しみにしていた出場者にとっても、ちょっと残念な展開となった。

そんな中で注目されたのは、コンクールニュース「コンチェルト」の最新号。出場者らのコンクールや音楽への思いを伝える内容だ。広報宣伝サポートボランティアが発行し、来場者にも配布した。直接インタビューはできなかったものの、アンケート形式で話を聞いた。制約がある中、工夫して交流を推し進める関係者の努力がコンクールを支えている。

2日目は3カ国の4人が登場。協奏曲は全員がメンデルスゾーンを選んだ。セミファイナル全体ではメンデルスゾーン9人、ドヴォルザーク3人。出場者37人の選択はメンデルスゾーン25人、ドヴォルザーク12人だった。ヴァイオリン協奏曲の代名詞とも言える名曲「メンコン」は、より強く演奏意欲を刺激するのだろう。

メンデルスゾーンに、卓越した技巧をひけらかすような場面はない。友人のヴァイオリニストの助言を得て、無理なく演奏効果が上がるよう工夫を重ねて書いた作品だ。作曲家が意図したように「自然に歌い上げる」には、高度な音楽性が求められる。この日挑戦した4人は、それぞれの個性を生かして難題に取り組み、独自の世界を創ろうとした。

「英雄の生涯」は4管編成の大作だが、課題の「英雄の伴侶」を中心とする箇所は2管編成にトロンボーン3、チューバ、ハープ(ホルン4はドヴォルザークと同じ)を加えれば対応できる。コンサートマスターとしての演奏は、独奏部分の演奏により集中する人、オーケストラへの確かな目配りを感じさせる人などさまざま。鍵を握るのはどれほどこの曲を理解しているか、そしてオーケストラの音をきちんと聴いているかだろう。

堀米ゆず子審査委員長は、第7回コンクールで初めてコンサートマスター審査を取り入れた時から、コンマスはソロとは異なる能力が求められると強調。「コンマスの適性がある人がいるかもしれない。活躍の場をより広げてほしいという思いを込めて課題にした」と語っていた。適性の有無の判断は慎重になされるべきだとしても、この課題がコンクールに新たな魅力を付け加えたことは間違いないと、あらためて感じる。

(第3日へ続く)

\*評論家山田治生さんによる出場者個々人の演奏レポートとあわせてお楽しみください。

♪コンクールの演奏をYou Tubeでお楽しみいただけます。  
第8回仙台国際音楽コンクールでは、両部門の予選から表彰式、ガラコンサートまでのライブ配信を4K60pで行っています。また演奏日の翌日から9月30日(金)まで期間限定でオンデマンド配信も行いますので、ぜひご視聴ください。

第8回仙台国際音楽コンクール公式サイト  
[https://simc.jp/8th\\_competition/](https://simc.jp/8th_competition/)  
Facebook :@SendaiInternationalMusicCompetition  
twitter :@sendai\_simc



■お問い合わせ先/公益財団法人 仙台市市民文化事業団 仙台国際音楽コンクール事務局

〒981-0904 仙台市青葉区旭ヶ丘3-27-5 Tel: 022-727-1872 Fax: 022-727-1873 E-mail: info@simc.jp URL: <https://simc.jp>